

# 《あんきの家細畑の増築計画 を成功させるために》

9月21日みどり福祉会の役員・職員と高齢者施設をつくる会の役員12名が、石川民医連に加盟する特別養護老人ホーム2か所の見学と住民運動の教訓を学ぶ事を目的とした視察を行いました。

やすらぎホームは、17年前1993年7月オープンし、4年後1997年に第二期建設運動（=100床個室41室への増床とショートステイ20床など在宅介護支援機能の強化）を開始し、1999年3月完成。2003年1月に「金沢市南部まちなかに特養ホームをつくる会」を結成し、2008年10月なんぶやすらぎホーム全室個室40室・ショートステイ2室・デイサービス12名を完成しました。

私たちが学び、活かしていく教訓の主なものは以下の3点です。

- ①入居機能29室だけでなく在宅介護支援の機能強化（=ショートステイ9室、デイサービス12人、訪問介護）と予防教室（寝たきりや認知症予防）の推進をアピールし広く共感を得ていくこと。
- ②介護保険の改善運動とセットで建設運動を進めること。全室個室のユニット型特養ホームに生活保護の方でも入居できるようにし、また介護職員の最低配置基準を常時2名体制に引き上げる運動が当面必要。
- ③地域公民館などでの増築説明会や直接訪問して訴え意見を聞かせていただくことが職員を大きく成長させるということ。切実な介護の大変さをお聞きしたり、私たちへの期待の声を聞かせていただくことが、私たちの使命の自覚につながります。

「地域へ足を運び地域の方の生の声を聴いて、職員と地域の方がひとつになった時、本当の意味での“安らげる場所、ができるんだと思いました。」など参加した職員の感想が寄せられました。

**岐阜民医連では介護の日  
(11月11日)に因んで以下  
のとおり学習会を開催します。**

- 介護保険10年を検証するシンポジウム



講演中の中井先生  
(資料写真)

- 11月7日(日) 9時30分～11時30分
- 基調講演 中井 健一 日本福祉大学教授
- 県民ふれあい会館 302大会議室
- 資料代300円(学生100円)当日会場にて  
詳しくは同封の申込み用紙を参照ください。

## 《やすらぎホーム見学記》

午前、南部やすらぎホーム。この施設は住み慣れた地域で見慣れた風景を見ながら介護を受けたい…そんな当然の願いがあつまり、『南部のまちなかに特別養護老人ホームをつくる会』が結成され、足かけ7年の地道なねばり強い運動が実り、2008年秋に入居者40名（他にショート2名、通所12名）でオープンしたものです。

三角地を巧みに生かし、明るく広がりを感じられる建物で、浴室、トイレ、居室の洗面台など自立を促す工夫がいくつもみられました。何よりも1,000名を超える人々から8,600万円余の寄付が寄せられたこと、それらの人々が現在もいろいろな形で支えるための活動を続けておられることなどの報告は感銘深いものでした。

午後は、西部に位置する発足17年のやすらぎホーム。入居者104名、ショートステイ、デイサービスなどあり。隣接して関連施設（薬局、診療所、地域交流センターなど）があり、地域に根づいた幅広く多彩な活動が展開されているとの報告に、一同感心しきりでした。

増え続ける入居待機者については、大きな社会問題になっていますが、ここでは“特養の建設促進運動、待機中の介護に関する情報交換”などを目的として『待機者家族の会』を組織しており、年3回に及ぶ介護懇談会、県や市当局への制度改善等の要望・交渉、マスコミを通じた活動の発信などを行っているとの興味深いお話もありました。

“昼食は近江町市場で海鮮丼を”との一同の願いも、見学・研修・熱い意見交換等で時間がとれずあえなく吹っ飛んでしまいましたが、実り多い1日になりました。 <小木曾>



# 西濃医療生協 しずさと診療所視察

9月29日（水）に、つくる会の役員及びあんきの家細畑の職員等10名で訪問しました。訪問先は大垣市の西部方面の田園地帯の中にあるしずさと診療所で、10年前に「心が通い合う診療所がほしい」という住民の願いから運動が始まり、8年前にオープンされました。もちろんデイサービスセンター・デイサービスひのき（認知症対応型）・居宅支援事業所もあります。

この度は、理事長、松岡専務、女性の理事2名の方々から、お話を伺いました。

## 現在3,000名の組合員に成長

10年前に運動が始まった頃は、我々のつくる会の発足当時のようにいろいろな苦労もされ、それでも診療活動・出資金集め等の運動を通じて現在3000名の組合員が居られるとのことでした。

また、今回新たに在宅介護支援するという立場で「在宅介護センター」を建設する構想が提案され、2011年11月にオープン予定で、約900坪という広い土地に。

- ◆ ショートステイ24床
- ◆ デイサービス（今の24名から34名）
- ◆ 訪問介護サービス
- ◆ 訪問看護サービス

などを行える「介護センター」建設運動がすすめられている状況です。

運動の方法として、専門委員会5チームをつくり地域の役員・各支部（7つの支部がある）の方々、建設運動に積極的に参加されているようです。

各支部では日々多数の人が活動され、2ヶ月に1回発行されている新聞もほとんど手配りしているとのことでした。

## 得た教訓に学びましょう。

つくる会としても考慮の必要がありそうです。帰りぎわに診療所の近くにあるデイサービスひのきを見学させていただきました。

改めて、私達つくる会も多数の会員の皆様のお力添えをいただき、新しい施設づくりの運動を進めていかなければと思っております。

つくる会と福祉会が共同して増築運動を進めるための「地域での連続説明会」が計画されています。その第1回として、9月27日午後7時よりあんきの家細畑地域交流ホールにて地元長森地区のつくる会会員に呼びかけた「特養増築地域説明会」が開催されました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、地域から7名の会員と役員・職員あわせて18名の参加がありました。

開会にあたり山理事長より、特養営に地元の皆様の支援にお礼が述べ築計画へのご協力。その後、特養地域住民運動ででき「個別ケアと自己運営され、皆様のよう努力している介護」を行うに要で、署名や行政会と繰り返し行っとして今回の増築の計画は「特養増ステイ・デイサービス介護の要望にお応の説明がありまし副施設長より入居な実態や「デイにでお泊まり」をせ紹介されました。

会場からは、設や厨房についての

それを受け、つくる会としてこの増築計画を全面的に支援し3000万円の寄付達成と特養整備補助金をもとに戻す署名に全力を挙げることを早川事務局員より提起されました。

最後に、つくる会市川会長が閉会の挨拶にたち「つくる会と福祉会が共同して大きな運動を展開する」ことを確認しました。また、今回は夜の説明会でしたが、参加しづらい方もおられるので長森地区で再度昼間の説明会も開催していくことが提案されました。

## 第1回 特養増築地域説明会を開催しました

田要みどり福祉会建設とその後の運ひとかたならぬごられ、引き続き増をお願いされまし三輪施設長より地た施設であり、決定権を大切に期待を裏切らないこと。また、「良は制度の改善が必との懇談をつくるてきた。その結果計画がある。今回床に加えショートビスなど地域でのえできる内容」とた。その後、武藤相談に係わり深刻来ても帰れず自費ざるを得ない例が計についてお風呂質問がありました。

